

中国産業概観 【中国自動車業界レポート(2022年6月)】

2022年7月
みずほ銀行(中国)有限公司
中国アドバイザー一部

MIZUHO

中国自動車業界レポート(2022年6月)

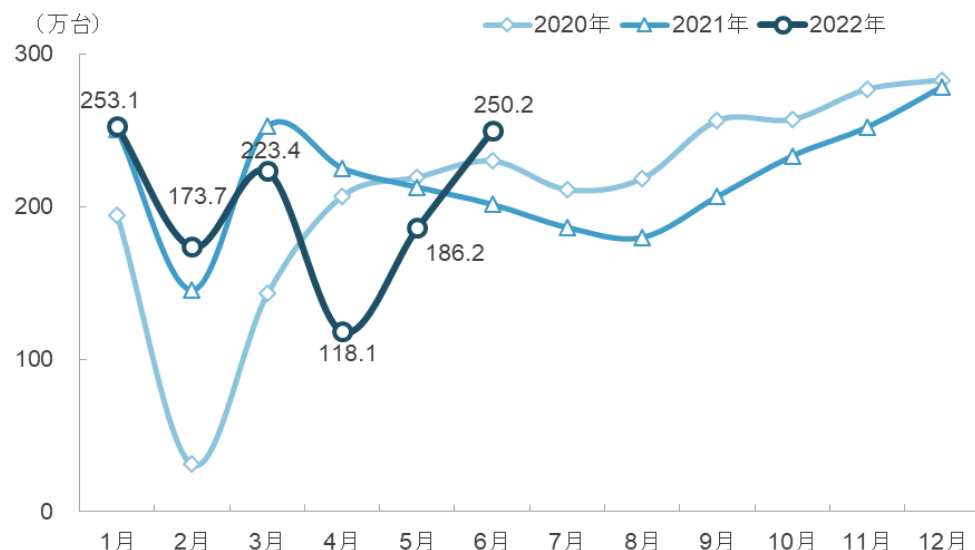
1 自動車販売台数	
1.1 自動車生産・販売台数	2
1.2 乗用車市場	3-4
1.3 高級車市場	5
1.4 日系三強	6
1.5 NEV	7-10
2 在庫動向	11
3 新たに発売されたモデル	12
4 業界動向	13
5 中古車市場	14

1.1 自動車生産・販売台数

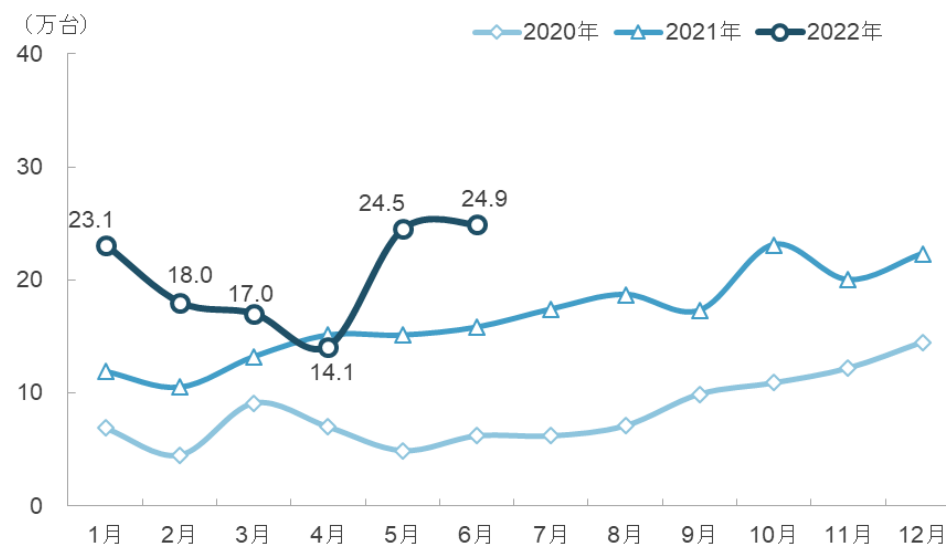
【中国自動車業界レポート(2020年6月)】

- **生産・販売台数は回復が続く**: Covid-19の影響によるサプライチェーンの混乱から回復、生産・販売台数とも回復が続く。2022年6月の中国自動車生産台数は前年同月比28.2%増、前月比29.7%増の249.9万台、販売台数は前年同月比23.8%増、前月比34.4%増の250.2万台。1-6月の累計生産台数は前年同期比3.7%減の1,211.7万台、販売台数は同6.6%減の1,205.7万台。上半期の生産販売台数はU字型の回復を見せ、中央及び地方政府の消費刺激策により、下半期は小幅に揺れ動きながら上昇していくと期待される。
 - ✓ 乗用車: 6月の販売台数は前年同月比41.2%増、前月比36.9%増の222.2万台。1-6月累計は前年同期比3.4%増の累計販売台数1,035.5万台。
 - ✓ 商用車: 6月の販売台数は前年同月比37.4%増、前月比17.4%増の28.1万台。1-6月累計は前年同期比41.2%減の170.2万台。
- **輸出**: 6月、完成車メーカー輸出台数は前年同月比57.4%増、前月比1.8%増の24.9万台。うち、乗用車は前年同月比65.6%増の19.8万台。商用車は同32.4%増の5.1万台。1-6月累計は前年同期比47.1%増の121.8万台。
- **政策効果**: 一部乗用車における車両購入税半減政策の実施から1ヵ月、対象となった車両は109.7万台、減税分は71億元。うち、排気量1.6~2.0Lの対象車率が約52%を占める。同政策は今年末まで実施され、販売台数200万台分の上乗せが期待されている。

中国自動車月次販売台数(2020-2022)



中国自動車月次輸出台数(2020-2022)



出所: 中国汽車工業協会、国家税務総局の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.2 乗用車市場①

【中国自動車業界レポート(2020年6月)】

- **6月の販売台数**: 2022年6月、中国乗用車市場情報協会の発表した乗用車小売台数は194.3万台。うちTop15社の合計は前年同月比26.6%増と3カ月連続のマイナスからプラスに転じた。一汽VWは生産・販売とも回復が続き、Teslaは同177%増と大きく伸びた。マイナスの伸びとなったのは上汽GM(▲21.0%)と長城汽車(▲3.4%)のみ。
- **1-6月累計販売台数**: 乗用車企業Top15のうち、プラス成長となったのはBYD、奇瑞汽車、広汽トヨタの3社。その他はまだマイナスが続く。下げ幅が大きいのは上汽GM(▲33.1%)、上汽VW(▲27.3%)、どちらも下げ幅は縮小。

乗用車メーカー小売台数Top15

No.	メーカー	2021.6 (万台)	2022.6 (万台)		
				前年同月比	市場シェア
1	一汽VW	13.92	21.02	51.0%	10.8%
2	BYD	4.88	13.26	171.6%	6.8%
3	上汽VW	11.40	11.50	0.9%	5.9%
4	長安汽車	7.88	10.71	36.0%	5.5%
5	吉利汽車	9.31	10.37	11.4%	5.3%
6	一汽トヨタ	6.48	9.26	42.9%	4.8%
7	東風日産	9.01	9.12	1.3%	4.7%
8	広汽トヨタ	7.67	9.06	18.1%	4.7%
9	上汽GM	11.40	9.00	-21.0%	4.6%
10	Tesla中国	2.81	7.79	177.0%	4.0%
11	長城汽車	7.42	7.16	-3.4%	3.7%
12	広汽ホンダ	5.80	7.09	22.3%	3.6%
13	東風ホンダ	6.05	7.04	16.3%	3.6%
14	上汽GM五菱	6.68	6.93	3.7%	3.6%
15	奇瑞汽車	4.31	5.84	35.5%	3.0%
Top15 合計		115.02	145.15	26.2%	74.7%

No.	メーカー	2021.1-6 (万台)	2022.1-6 (万台)		
				前年同期比	市場シェア
1	一汽VW	102.58	86.31	-15.9%	9.3%
2	BYD	23.82	63.85	168.0%	6.9%
3	長安汽車	61.30	55.87	-8.9%	6.0%
4	上汽VW	73.33	53.30	-27.3%	5.8%
5	吉利汽車	57.68	52.62	-8.8%	5.7%
6	上汽GM	69.96	46.82	-33.1%	5.1%
7	広汽トヨタ	42.58	45.35	6.5%	4.9%
8	東風日産	56.94	44.47	-21.9%	4.8%
9	長城汽車	46.18	38.09	-17.5%	4.1%
10	上汽GM五菱	46.83	37.94	-19.0%	4.1%
11	広汽ホンダ	36.54	35.27	-3.5%	3.8%
12	一汽トヨタ	39.93	35.15	-12.0%	3.8%
13	東風ホンダ	42.19	32.80	-22.3%	3.5%
14	華晨BMW	36.20	31.03	-14.3%	3.4%
15	奇瑞汽車	26.27	30.18	14.9%	3.3%
Top15 合計		762.33	689.05	-9.6%	74.4%

出所: 中国乗用車市場情報協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

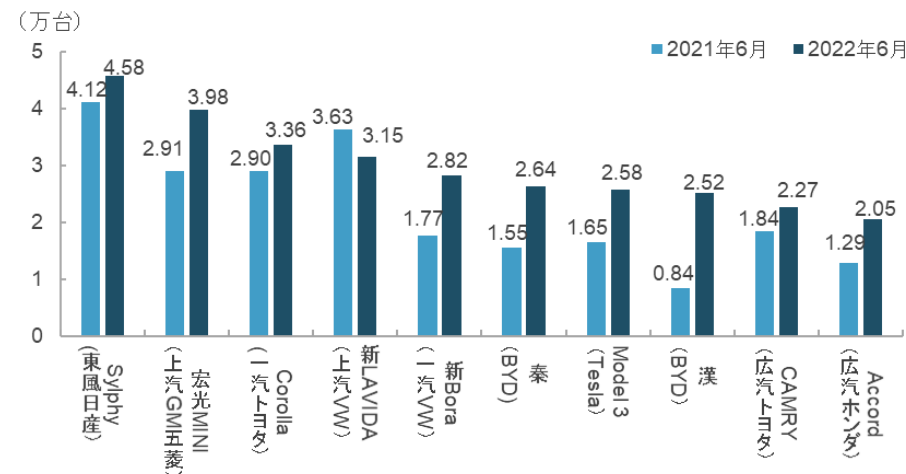
1.2 乗用車市場②

【中国自動車業界レポート(2022年6月)】

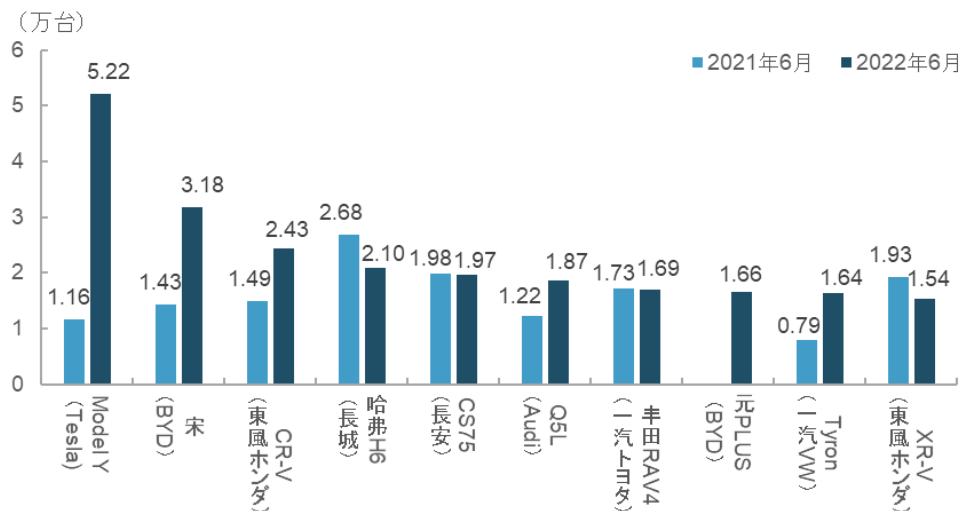
■ 乗用車タイプ別Top10:

- ✓ **セダン**: 6月、日産Sylphyが宏光MINIを抜き再びトップに。伸び幅が最大なのはBYD漢、一方、上汽VWの新LAVIDAのみ前年同月比減となった(▲13.2%)。Top10の合計販売台数は29.95万台、CR10は30.3%。
- ✓ **SUV**: 今月、Teslaの国産車は全て国内で販売、Model Yは前年同月比4.5倍でSUVトップに。BYD宋は同2.22倍で第2位。哈弗H6は下落が続く。Top10の合計販売台数は23.3万台、CR10は26.5%。
- ✓ **MPV**: 五菱宏光がトップを維持。トヨタSIENNAは小幅成長が続く。MPVのCR10は71.7%。

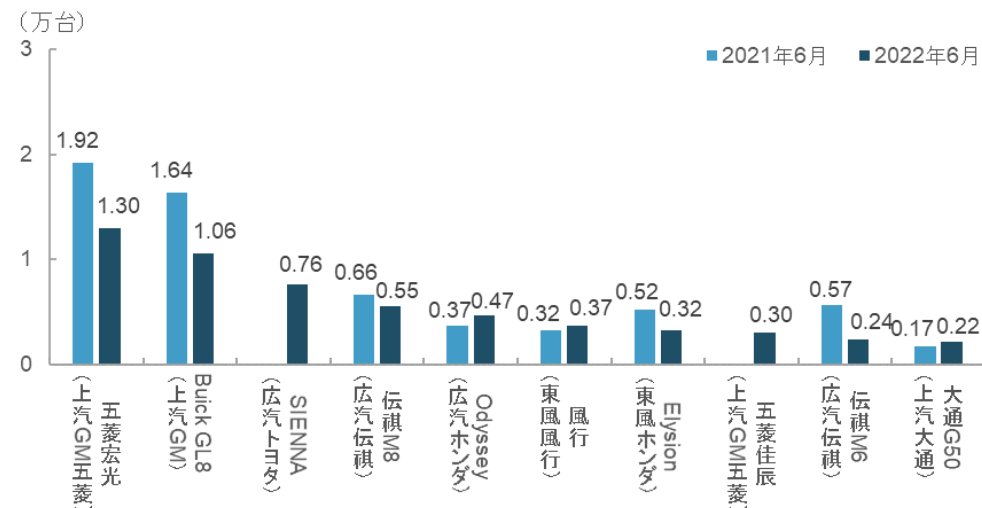
セダン販売台数Top10 (2022年6月)



SUV販売台数Top10 (2022年6月)



MPV販売台数Top10 (2022年6月)



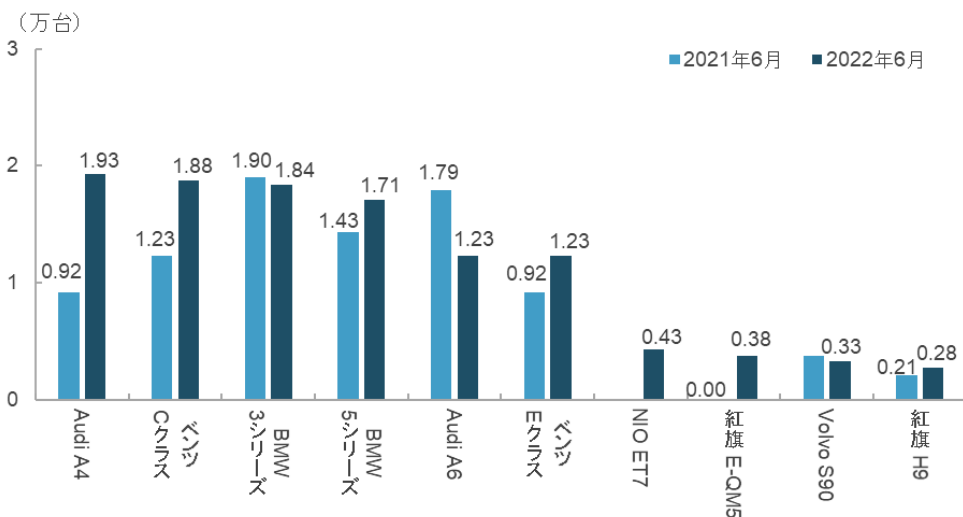
出所: 中国乗用車市場情報協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.3 高級車市場

【中国自動車業界レポート(2020年6月)】

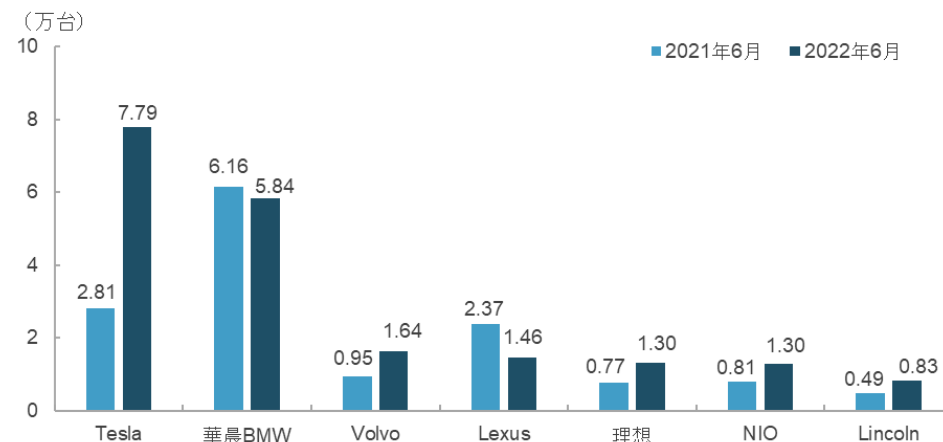
- **高級車市場**: 2022年6月、国産高級車の小売台数は前年同月比26%増、前月比74%増の31万台。Teslaは四半期末月は中国市場での販売に集中、工場のフル稼働に伴い、納車までの待ち時間も改善している。
- **タイプ別**:
 - ✓ セダン: Audi A4L、ベンツCクラス、BMW 3シリーズがTop3。トップブランドが依然として人気。それ以外の高級セダンは大幅減。
 - ✓ SUV: 四半期末月は常にModel Yがトップ、6月は前年同月比6.2倍となった。Audi Q5Lは同クラスのモデルを引き離し53.3%増で第2位。理想ONE、NIO ES6等のNEVもTop10内に安定。

高級セダン販売台数Top10 (2022年6月)

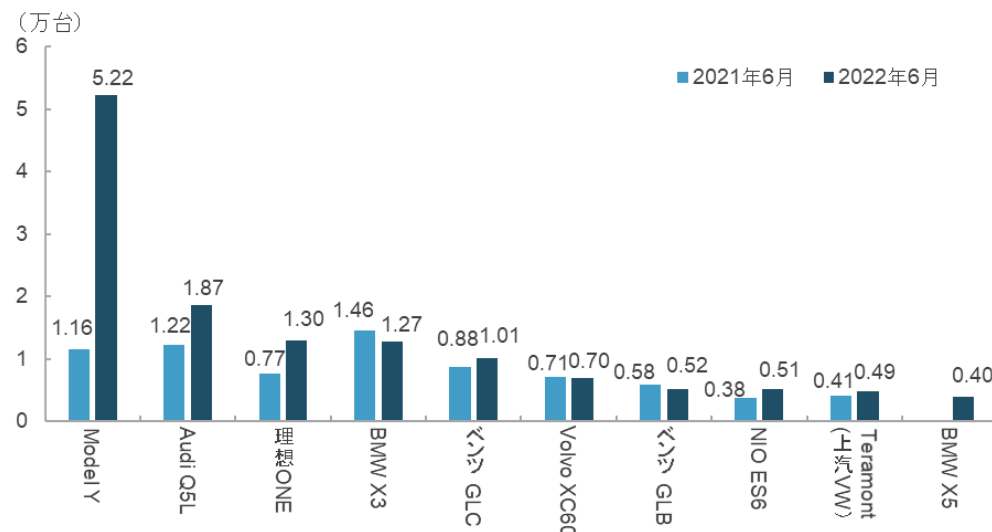


備考: 高級車とは指導販売価格30万元以上を指す

高級車メーカー販売台数 (一部、2022年6月)



高級SUV販売台数Top10 (2022年6月)



出所: 新浪汽車、中国乗用車市場情報聯席会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

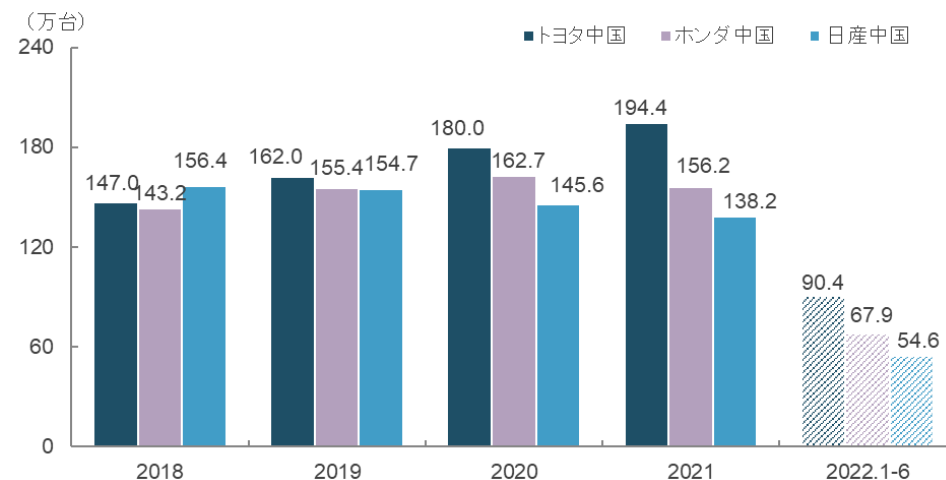
1.4 日系三強

【中国自動車業界レポート(2020年6月)】

■ 日系三強:6月、日系メーカーの販売台数も増加に転じたものの、二極化を示した。トヨタ、ホンダは前年同月比大幅増、日産はマイナスが続く。

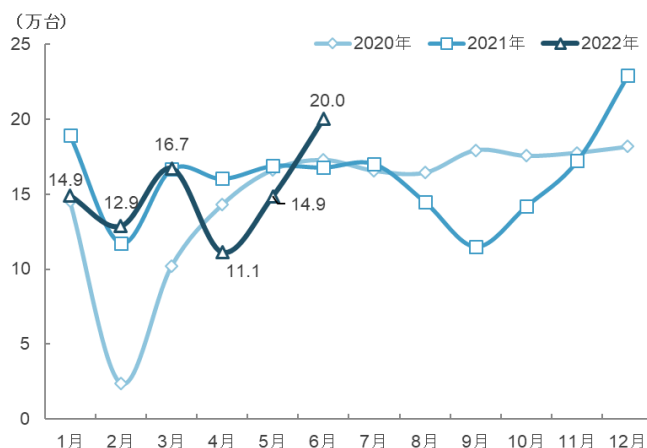
- ✓ トヨタ中国の6月販売台数は前年同月比19.2%増の20.01万台、うち、广汽トヨタ、一汽トヨタ共に卸売台数は10万台を突破。Corolla、CAMRY、LEVIN、RAV4等が人気。2022年1-6月累計では前年同期比6.8%減の90.43万台。
- ✓ ホンダ中国の6月販売台数は前年同月比19.4%増の14.11万台、うち广汽ホンダ、東風ホンダ共に7万台を突破。Accord、BREEZE、Civic、CR-V等が人気。2022年1-6月累計では前年同期比13.6%減の67.92万台。
- ✓ 日産中国の6月販売台数は前年同月比4.8%減の10.9万台と4ヵ月連続のマイナス。7月はプラスに転じると見られる。Sylphy、ALTIMA、QASHQAI等が人気。2022年1-6月累計では前年同期比22.7%減の54.60万台。

日系三強の販売台数 (2018~2022)

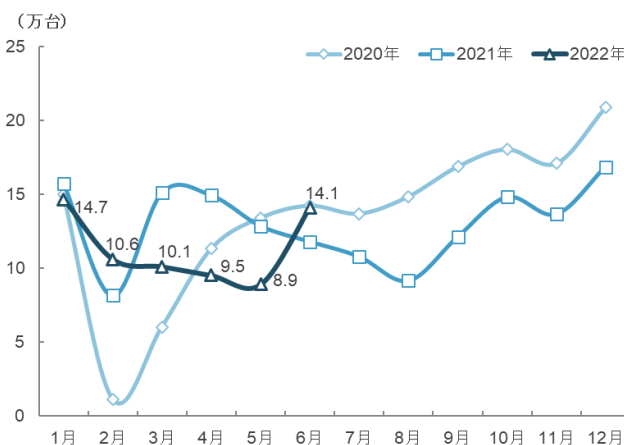


日系三強月次販売台数 (2020-2022年)

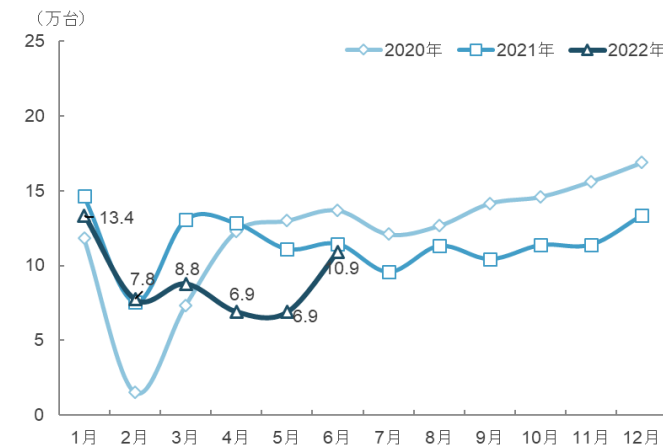
TOYOTA



HONDA



NISSAN



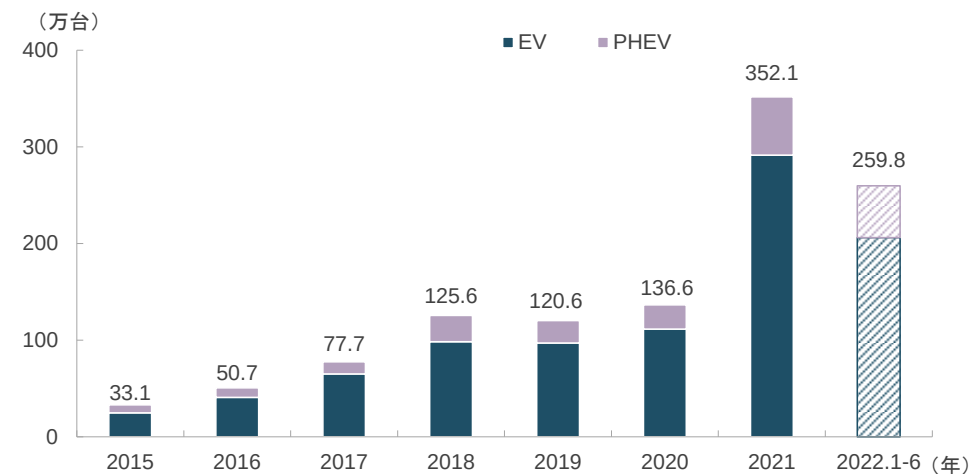
出所: 新浪汽車の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.5 NEV①

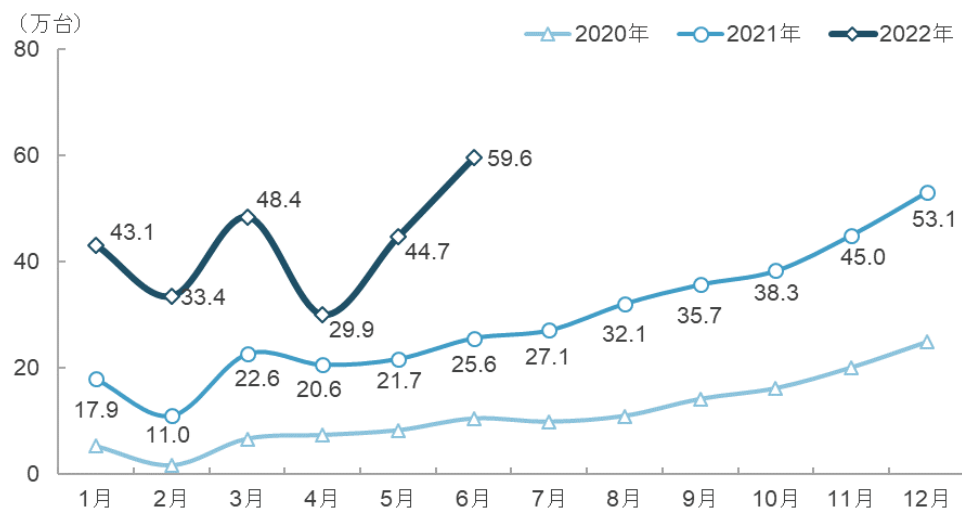
【中国自動車業界レポート(2020年6月)】

- **高成長を維持**: 2022年6月、中国のNEV生産台数は59万台、販売台数は59.6万台と共に前年同月比2.3倍。うち、EV販売台数は同2.2倍の47.6万台、PHEVは同2.7倍の12万台。1-6月のNEV販売台数は前年同期比2.2倍の259.8万台。6月末時点、中国NEV保有台数は1,001万台に達している。
- **タイプ別構成比**: 1-6月のEV販売台数は206.2万台、NEV販売台数構成比は79.4%、2021年末比では3.4pt縮小。PHEVは53.6万台で同構成比は20.6%。
- **新車販売台数におけるNEV構成比**: 6月の新車販売台数におけるNEV率は23.8%、乗用車では25.6%と前月比ではやや縮小。

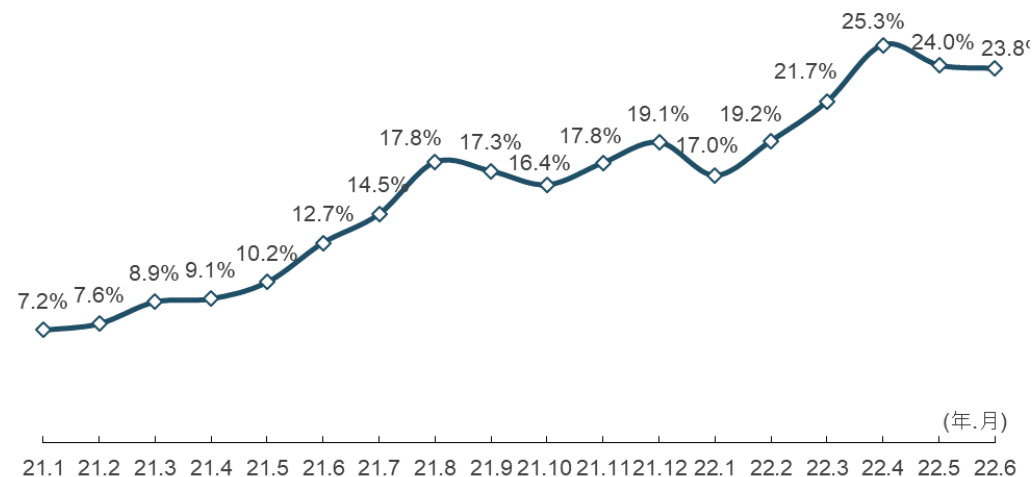
NEV販売台数構成(2015-2022)



中国NEV月次販売台数(2020-2022)



新車販売台数に占めるNEV構成比(2021-2022)



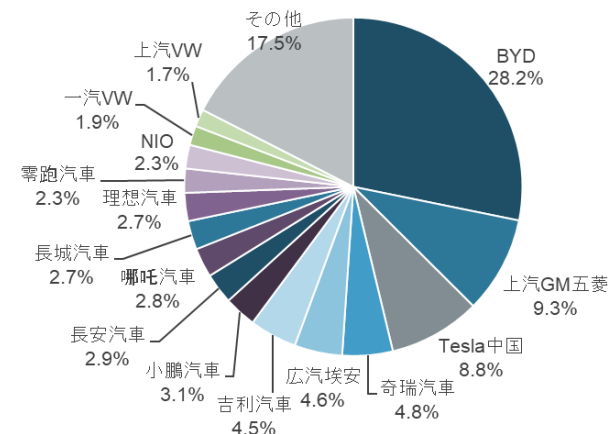
出所: 中国汽車工業協会、公安部、中国乗用車市場情報聯席会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.5 NEV②

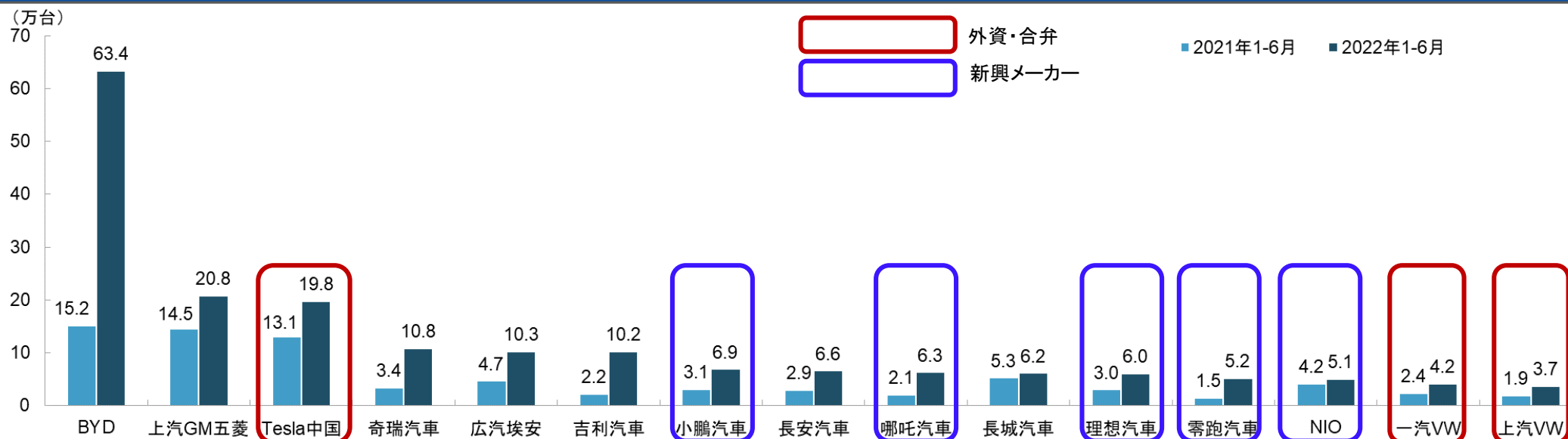
【中国自動車業界レポート(2020年6月)】

- **中資系のシェアがさらに拡大**: 2022年1-6月、NEV乗用車累計小売台数は前年同期比122.5%増の224.8万台。うち中資系の構成比は約80%に達している。Teslaは8.8%、合併系は11.2%。
- **Top15**: NEV乗用車販売台数Top15の完成車メーカーによる販売台数は計185.48万台、CR15は82.5%。うち28.2%を占めるBYDの販売台数は前年同期比4.18倍に達している。他、大きく伸ばした完成車メーカーには吉利汽車(4.64倍)、奇瑞汽車(3.23倍)、長安汽車(2.26倍)等がある。新興メーカーも力強いパフォーマンスを見せ、小鹏、哪吒、理想、零跑等は同2倍以上の伸びとなっている。

NEV乗用車販売台数市場シェア(2022年1-6月)



NEV乗用車販売台数Top15(2022年1-6月)



出所: 中国乗用車市場情報協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.5 NEV③

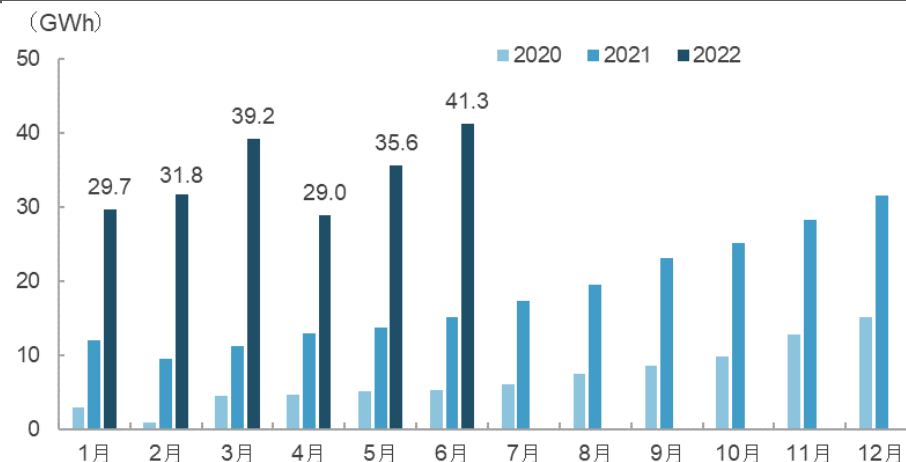
【中国自動車業界レポート(2020年6月)】

■ **動力電池**:2022年6月、中国動力電池搭載量は前年同月比143.3%増、前月比45.5%増の27.0GWhと高い伸びが続く。うち、リン酸鉄リチウムのシェアが前月比2pt拡大の57.1%。1-6月累計搭載量は前年同期比109.8%増の110.1GWh。

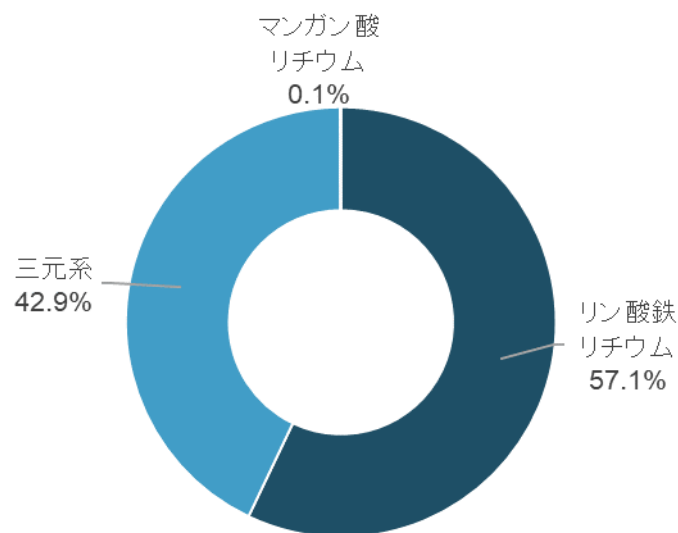
✓ **生産量**:6月の動力電池生産量は前年同月比171.7%増、前月比16.1%増の41.3GWh。うち、リン酸鉄リチウムは22.9GWhと全体の55.5%、三元系は18.3GWhで同44.3%と構成比はやや縮小。

✓ **Top10**:6月は37社の電池が搭載、うちTop10社の搭載量は25.8GWh、CR10は95.5%。CATLのシェアは49.6%、前月比3.8pt拡大。

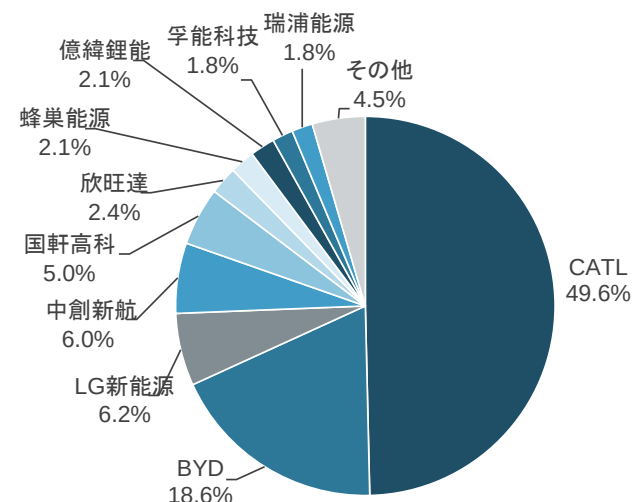
動力電池搭載量(2020-2022年)



動力電池搭載量構成比(2022年6月)



動力電池搭載量Top10(2022年6月)



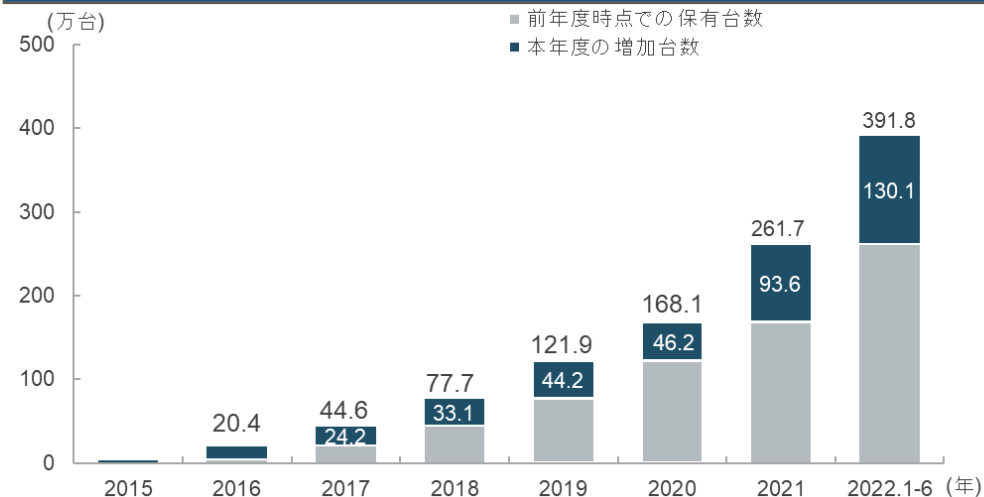
出所: 中国自動車動力電池産業創新聯盟の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.5 NEV④

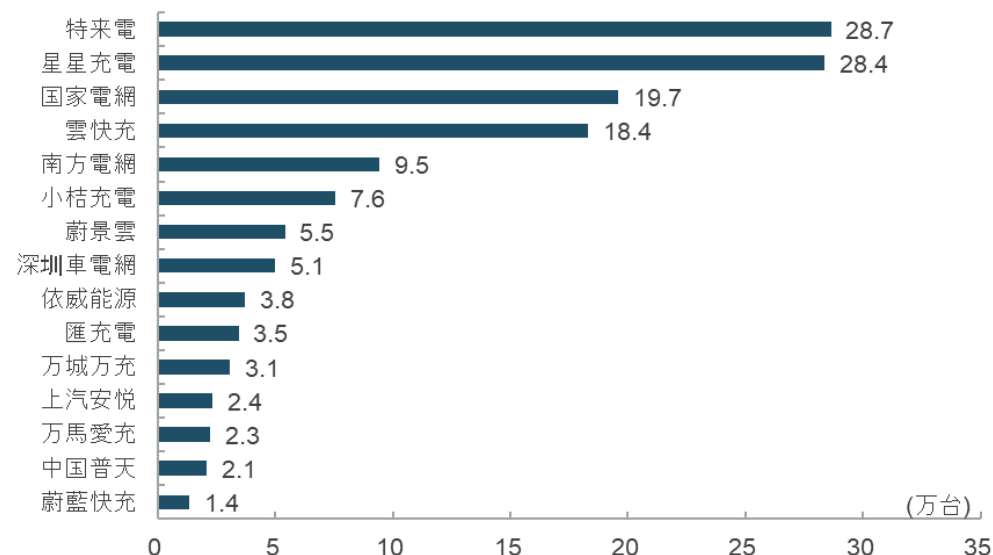
【中国自動車業界レポート(2020年6月)】

- **充電網はさらに拡大**: 2022年1-6月の中国充電スタンド新設台数は2021年通年の新設台数の2.39倍の130.1万台。2022年6月末時点の保有台数は前年同月比101.2%増の391.8万台、NEV保有台数を1,000万台とすると、スタンド:車の比率は1:2.55。
- **公共充電スタンド**: 2022年6月、中国の公共充電スタンド保有台数は152.8万台、うち直流充電スタンド66.5万台、交流充電スタンド86.3万台。公共充電スタンド運営事業者のCR15は92.5%、うち、特来电と星星充電はそれぞれ28万以上を運営している。
- **電池交換ステーション**: 2022年6月時点、中国NEV電池交換ステーション数は1,582カ所、うちNIOは全体の64.7%を占める1,024カ所を運営。

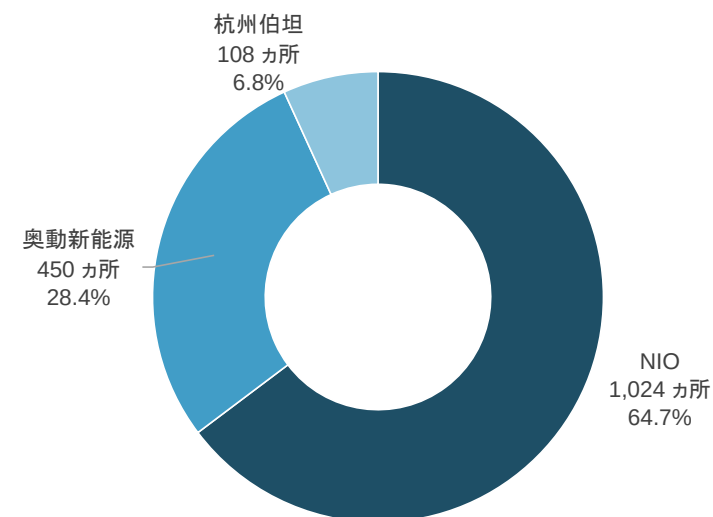
中国充電スタンド保有量(2015-2022年)



公共充電スタンド運営事業者Top15(2022年6月末時点)



電池交換ステーション運営事業者(2022年6月)



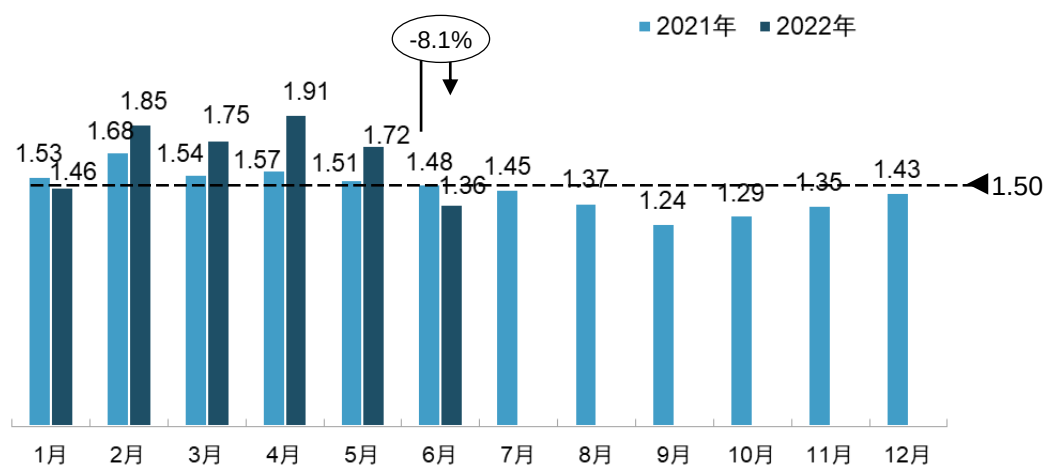
出所: 中国充電聯盟の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

2 在庫動向

【中国自動車業界レポート(2020年6月)】

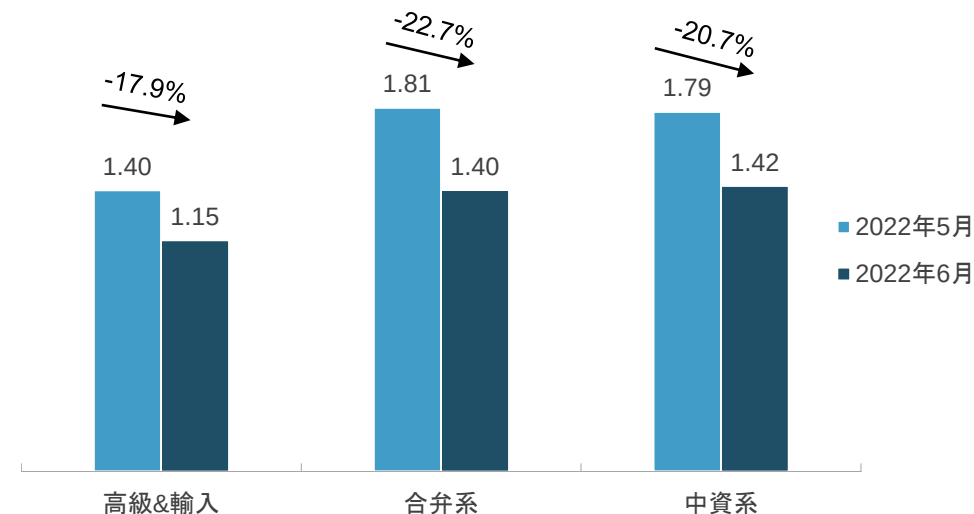
- **在庫係数**: 2022年6月、自動車ディーラー在庫係数は前年同月比8.1%低下、前月比20.9%低下の1.36。全国各地のCovid-19防疫レベルが引き下げられ、購入税の引き下げや地方政府による様々な購入刺激策により、市場は回復、ディーラーにとっても客足や取引状況に顕著な改善が見られ、在庫レベルは警戒線ライン以下、適切な範囲内に落ち着いている。
- **ブランド別**: 購入税の半額免除は合弁系の多くや一部高級車モデルも対象としているため、販売台数は全体として好転、在庫平均は大きく下がった。在庫係数は高級&輸入が前月比17.9%低下の1.15、合弁系は同22.7%低下の1.40、中資系は同20.7%低下の1.42となった。
- **7月の予測**: 従来、7月はオフシーズンだが、Covid-19が抑制できていることと、中央及び地方政府が各種消費刺激策を打ち出していることから、上半期分の自動車購入需要が続くと見られる。Covid-19で大きな影響を受けた自動車サプライチェーンも全面的に回復、生産も回復したことから、ディーラーも在庫補充に動くため、7月の在庫係数はやや上昇する見通し。

ディーラー在庫係数(2021-2022)



説明: 中国汽車流通協会は2010年7月より定期的に自動車ディーラーに対し在庫調査を行い、各メーカーの在庫状況及び業界の総合在庫係数を算出している(在庫係数=期末在庫数/当期販売台数)。在庫係数>1.5が警戒ライン。

ブランド別在庫係数(2022.5~6)



出所: 中国汽車流通協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー部作成

3 新たに発売されたモデル(6月11日-7月10日)

【中国自動車業界レポート(2020年6月)】

No.	発売日	モデル	販売価格 (万元)	タイプ	排気量	航続距離 (EVモデル)	メーカー	セールスポイント
1	6.15	NIO ES7	46.80-54.80 (補助金後)	SUV	-	485km、620km、 850km	NIO	• NIO NT2.0プラットフォームの初のSUV。 前後のツインモーター4WDを採用
2	6.19	思皓X6	7.99-11.49	SUV	1.5T	-	江汽集団	• 江淮とVWの合併ブランド。HOL-Pilotス マート運転支援システムを搭載
3	6.20	e:NP1	17.50-21.80	SUV	-	420km、510km	广汽ホンダ	• EVブランド「e:NP」初のモデル。e:N OS フルスタックインテリジェントコントロール システムを搭載
4	6.21	理想L9	45.98	SUV	-	215km	理想汽車	• 5カ所にインタラクティブディスプレイ、11 台のカメラを設置。CLTCでの後続距離は 1315km
5	6.25	欧尚Z6	9.99-12.99	SUV	1.5T、2.0T	-	長安欧尚	• 長安藍鯨の次世代型NEエンジン
6	6.25	欧尚Z6 PHEV	15.58-17.58 (補助金後)	SUV	-	150km	長安欧尚	• 長安藍鯨のiDDフルレンジハイブリッドシ ステム
7	6.30	幾何E	8.68-10.38 (補助金後)	SUV	-	320km、401km	幾何汽車	• 杭州銭塘の吉利4.0ギガスマート工場で 生産
8	7.4	問界M7	31.98-37.98	SUV	-	200km、230km	小康股份	• AITOブランドの第2弾モデル。Huawei DriveONE 純電気駆動プラットフォームを 搭載
9	7.5	Volvo C40	26.70-32.80 (補助金後)	SUV	-	530km、550km	Volvo Car, APAC	• クーペタイプのEV。2WDと4WDを展開
10	7.6	皓極	12.69-13.99	SUV	1.5T	-	東風風神	• 東風集団DSMAアーキテクチャによる初 のSUV

出所: 新浪汽車の資料に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

4 業界動向(6月11日-7月10日)

【中国自動車業界レポート(2020年6月)】

No.	企業	主な動向
1	漢馬科技	6月14日、漢馬科技(600375.SH)は2025年12月にICEの生産を停止することを発表。EV、メタノール動力、ハイブリッド、水素燃料電池等の新エネ、クリーンエネルギー自動車事業に注力する
2	北汽集団	6月15日、北汽集団は「BLUE衛藍計画」のオンライン発表会を実施。2025年に炭素排出ピークアウト、2050年に製品の全面的な脱炭素とカーボンニュートラル運営を実現する。「第14次五カ年」終了時点で、製品の平均炭素排出量を2020年より33%引き下げる。
3	CATL	6月23日、CATLはCTP3.0 麒麟電池を発表、システムインテグレーションレベルは世界で過去最高レベル、体積利用率は72%を突破、エネルギー密度は255Wh/kg、航続距離1000kmを実現。2023年に量産販売の予定。
4	Audi一汽	6月28日、Audiは中国初の高級EV車工場の定礎式を実施、まずAudiA6 e-tronとQ6 e-tronを市場に投入する予定。新工場は2024年に正式稼働。
5	Tesla	6月16日、Tesla Model Yロングレンジ版の価格を1.9万元引き上げ39.49万元とした。納車まではおよそ20-24週。 7月4日、Teslaは中国で既に1,200ヵ所以上の充電ステーションを展開、スーパーチャージャーは8,700台、700多座目的地充電ステーションは700ヵ所超、370都市及びエリアをカバーしている。
6	吉利汽車	6月28日、吉利集団の関連会社である上海華普汽車有限公司は集度汽車から撤退、百度関連会社の持分比率が100%となった。 7月4日、吉利集団傘下子会社の星紀時代とスマートフォンなどの電子機器メーカー魅族科技が杭州で戦略投資協議を締結。星紀時代が魅族科技の株式79.09%を取得し単独支配権を有することとなった。
7	孚能科技 Daimler	6月30日、孚能科技(688567.SZ)とMercedes-Benz AG(Daimler)がサプライヤー協議の補充協議を締結。Daimlerは孚能科技の子会社孚能鎮江から約1.5億米ドル相当の製品を調達する。
8	哪吒汽車	7月4日、哪吒汽車と德賽西威(002920.SZ)は全面的戦略提携を締結。2022年内に初の量産モデル哪吒Sを発売する。
9	恒大汽車	7月6日、恒大汽車の恒馳5の予約販売が正式にスタート、公開予約価格は17.9万元。10月より順次納車予定で、2023年第1四半期までに1万台の納車を目指す。
10	宇通新能源	7月6日、宇通新能源商用車生産工場の着工式が鄭州市で行われた。同工場は敷地面積2,622ム一、計画投資額85億元。NEV大型トラック、中型トラック、小型トラックなどを生産する。

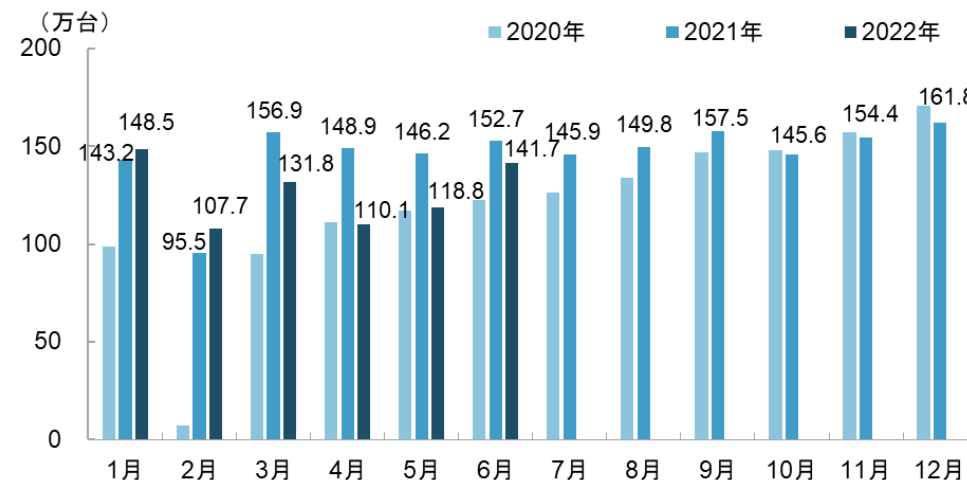
出所: 新浪汽車の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

5 中古車市場

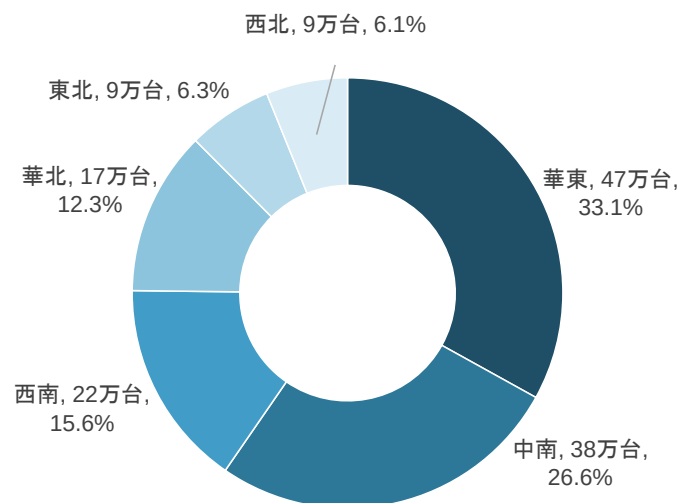
【中国自動車業界レポート(2020年6月)】

- **中古車取引台数**: 2022年6月、中国中古車市場取引台数は前年同月比7.23%減、前月比19.2%増の141.66万台、取引額は959.41億元。セダンは前年同月比減、SUV、MPVは同増となった。2022年1-6月の累計取引台数は前年同期比10.07%減の758.52万台、中央や地方政府からの購入刺激策により、取引台数は増加していくと見られる。
- **エリア別取引台数**: 華東エリアが46.82万台、構成比33.1%と最大。次いで、中南、西南、華北等。
- **省間の流通状況**: 6月の中古車転籍台数は35.68万台、転籍率は25.19%と前年同月より3pt低下。Covid-19の防疫状況の好転に伴い、来月の流通状況も好転する見通し。

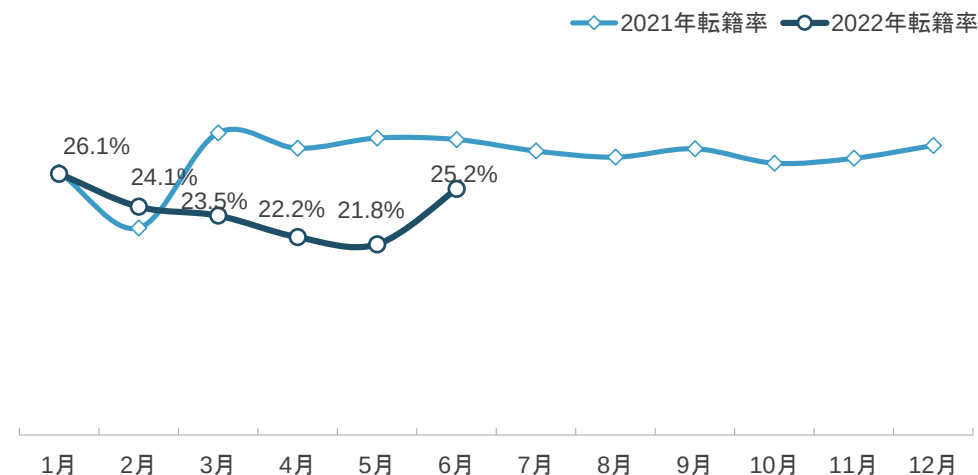
中古車月次取引台数(2020-2022)



エリア別取引台数構成比(2022年6月)



中古車の省間流通状況



出所: 中国汽流通協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成



MIZUHO

瑞穂銀行

—— WeChat公式アカウント ——

みずほ銀行(中国) 中国アドバイザー一部

張 龍 (中) long.zhang@mizuho-cb.com

藤原詩帆 (日) shiho.fujiwara@mizuho-cb.com

石田方治 (中/日) masashi.ishida@mizuho-cb.com

Copyright © 2022 Mizuho Bank (China) , Ltd.

1. 本資料は法律上・会計上・税務上の助言を目的とするものではありません。本資料中に記載された諸条件及び分析は仮定に基づいており、情報及び分析結果の確実性或いは完全性を表明するものではありません。また、当行との取引においてご開示頂く情報、鑑定評価、各種機関の見解、また政策法規・金融環境等の変化によっては、本資料に記載の仮定やスキームと乖離が生じ、提示した効果が得られない可能性があります。本資料については、そのリスクを充分ご理解の上、貴社ご自身の判断によりご利用下さい。当行は本資料に起因して発生したいかなる損害について、その内容如何にかかわらず、一切責任を負いません。
2. 本資料中に記載された企業情報は、公開情報及び第三者機関から取得した情報に基づいて作成しており、当行が顧客との取引において知りうる機密事項や非公開情報等は一切含まれておりません。
3. 本資料中に記載された情報は、当行が信頼できると考える各方面から取得しておりますが、その内容の正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。また、引用された出所元の資料及び文言に含まれる、または解釈される可能性のある意見や論評は、記載された出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。
4. 本資料の著作権は原則として当行に帰属します。本資料については貴社内部の利用に限定され、いかなる目的であれ、いかなる方法においても、無断で本資料の一部または全てを、第三者へ開示、または複写・複製・引用・転載・翻訳・貸与する等の行為について固く禁じます。